

みずほCustomer Desk Report 2016/06/17号(As of 2016/06/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	105.65 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.89	1.1261	119.21	0.9611	1.4196	0.7416
SYD-NY High	106.02	1.1295	119.41	0.9687	1.4253	0.7445
SYD-NY Low	103.56	1.1131	115.51	0.9572	1.4013	0.7286
NY 5:00 PM	104.25	1.1223	117.04	0.9652	1.4201	0.7364
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.56/14.16		△25RR	2.970	Yen Call Over	

NY DOW	17,733.10	92.93	債券市場	日本2年債	-0.2700	0.7bp
NASDAQ	4,844.92	9.98		日本10年債	-0.1910	▲1.2bp
S&P	2,077.99	6.49		米国2年債	0.6854	1.6bp
日経平均	15,434.14	▲485.44		米国5年債	1.0907	1.9bp
TOPIX	1,241.56	▲35.55		米国10年債	1.5788	0.7bp
シカゴ日経先物	15,665	▲300.00	為替市況	独10年債	-0.0240	▲1.4bp
ロンドンFT	5,950.48	▲16.32		英10年債	1.1100	▲1.0bp
DAX	9,550.47	▲56.24		豪10年債	2.0030	▲6.3bp
ハンセン指数	20,038.42	▲429.10		USD/CNH	6.5977	0.0032
上海総合	2,872.82	▲14.39		ドルインデックス	94.63	0.02
USDJPY 3M Vol	12.37	0.30%	商品市況	CRB指数	188.894	▲2.85
USDJPY 6M Vol	12.00	0.30%		NY金	1,298.400	10.10
EURJPY 3M Vol	15.01	0.96%		WTI	46.210	▲1.80
EURJPY 6M Vol	13.81	0.63%		Dubai Spot	44.95	▲0.68

東京	東京時間のドル円相場は105.89レベルでオープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付き下落幅を拡大するとドル円も105円台半ばまで下落。その後は日銀金融政策決定会合の結果待ちとなり動意に乏しい推移が続いたが、日銀発表前に短期筋による仕掛け的な売りで見られる動きを受けて前日安値の105.41を割れて105.16まで下落。その後日銀が金融政策の現状維持を発表すると、日経平均株価や日経先物の下落を伴いドル円は104円台半ばまで急落。急速な円高進行について財務省幹部の「一方的な早い動きを憂慮している」とのコメントが伝わったが下落に歯止めをかける材料とはならず、一時104.00まで下落。一旦は下げ止まったものの引けにかけて再び売りが強まり一時103.96まで下落した後、104.16レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は2014年8月以来の安値を更新する展開。104.16レベルでオープンすると日銀金融政策決定会合での追加緩和の見送ったことに加えて、23日の英国のEU離脱を問う国民投票への警戒感を背景にしたリスク回避的な円買いも入り一時103.56まで下落した。その後ポジション調整から104円台前半まで戻し、104.40レベルにてニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.1281レベルでオープン。ユーロ円の下落につられる形でドルでも軟調推移となり、1.1175まで下落した。その後も安値圏での推移が続き、1.1177レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00 西海)
ニューヨーク	本日のドル円相場は104.40レベルでNYオープン。朝方に発表された米経済指標で、米6月フィラデルフィア連銀景況指数は市場予想を上回る結果となった一方で、新規失業保険申請件数、米5月CPIは市場予想比悪化するなど強弱まちまちな内容。結局、米10年債利回りは上昇に転じたが、ドルは小動きとなった。英国の国民投票を控えた警戒感が根強く、タウは下げて始まり、原油は1ヶ月ぶり安値を更新するなど、リスク回避の動きが継続する中、ドル円とクロス円は下押しされドル円は一時103.76まで下落した。ただ、その後は値ごろ感からタウに買い戻しが入り、小幅ながらもプラス圏で推移をすると、ドル円も104円台に戻した。午後に入り、タウが堅調な推移が続きリスク回避の動きが一服するとドル円は一時104.60まで上昇した。その後は積極的な取引は控えられ、ドル円は104円台前半での小動きとなり、104.25レベルで海外市場へ渡った。ユーロドルは1.1177レベルでNYオープン。序盤は英国のEU離脱懸念にユーロ売りが加速し一時1.1131まで下落したが、株式市場が回復する中、ユーロドルは買い戻しが強り1.1241まで上昇した後1.1223レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月16日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	雇用者数変化/失業率	5月 17.9K/5.7%	15.0K/5.7%
	-	日銀金融政策公表	-	-
	15:30	黒田日銀総裁会見	-	-
	17:30	小売売上高・除自動車燃料(前月比/前年比)	5月 1.0%/5.7%	0.3%/3.8%
	18:00	CPI(前月比/前年比)	5月 0.4%/-0.1%	0.3%/-0.1%
	18:00	コアCPI(前年比)	5月 0.8%	0.8%
	20:00	BOE政策金利/資産購入目標	-	0.50%/375B
	21:30	新規失業保険申請件数	-	277K
	21:30	フィラデルフィア連銀景況指数	6月 4.7	1.0
	21:30	CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/1.0%	0.3%/1.1%
	21:30	コアCPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.2%	0.2%/2.2%

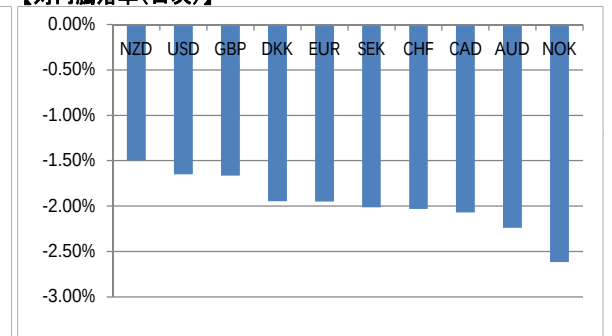
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月17日	17:00	経常収支(季調済)	4月 -	27.3B
	21:30	住宅着工件数/建設許可件数	5月 1,150K/1,145K	1,172K/1,130K
	21:30	CPI/CPIコア(前年比)	5月 1.6%/2.1%	1.7%/2.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.30	1.1150-1.1300	116.00-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、日銀金融政策決定会合での金融政策据え置きを受けて海外時間に103.56まで下落した。但し、海外時間にはややリスクセンチメントの改善もあり、ドル円は104円台を回復している。本日は週末でもあり、週末に英国国民投票を巡る何らかの報道等が出る可能性も否定できないため、昨日の揺り戻しなどポジション調整が優勢となりそう。足元、日経平均先物もやや値を戻しており、ドル円も105円台を回復する局面もあるだろう。